

電源コード・テーブルタップから出火

事故の概要

【事例①】住宅から出火し、男性が死亡した。

【事例②】住宅が出火し、全焼して2人が死亡した。

【事例③】住宅から出火し、計5棟を焼いて1人が重度のやけどを負った。

事故の原因

【事例①】延長コードがたんすの下敷きになって踏み付けられていたため、半断線状態になり、ショートして発火したものです。

【事例②】コンセントと電源コードの間にたまったほこりや湿気により、トラッキング現象が生じたものです。

【事例③】ファンヒーターや電気毛布等を延長コードに接続したため定格消費電力を超えてしまいました。さらにコードを束ねて使用していたため、束ねた部分が過熱したものです。



【再現実験より】

机の脚の下敷きになったコードから発火



【再現実験より】

束ねたコードから発火



事故防止のために

- ◆コードを曲げたり、ねじったりしないでください。重いもので踏み付けたり、ドアではさみ込んだりしないでください。
- ◆コードを束ねたり、本体に巻き付けしないでください。
- ◆プラグはしっかりと差し込んでください。抜くときは、プラグ本体を持ってください。
- ◆プラグとコンセント等の間にたまったほこり等は取り除いてください。
- ◆テーブルタップに水や殺虫剤、調味料等がかかったら使用をやめてください。ショートや劣化のおそれがあります。

